



未来は  
「地域」で創る

# 地域コミュニティの しくみづくりハンドブック

～協議会設立編～



# も く じ

|                             |      |
|-----------------------------|------|
| はじめに                        | …p1  |
| 1 新しい地域コミュニティのしくみについて       | …p2  |
| 2 (仮称) 地域コミュニティ連絡協議会設立までの流れ | …p4  |
| (1) 地域の機運を高めよう              | …p6  |
| (2) 準備委員会をつくろう              | …p7  |
| (3) まちづくり計画をつくろう            | …p10 |
| 3 長崎市も応援します                 | …p15 |
| おわりに                        | …p15 |
| 付録コラム：地域の“話し合い”を変えてみましょう！   | …p16 |



## 会長さん

地域コミュニティのしくみづくりに乗り出したが、  
疑問でいっぱい69歳。

## ちこみん

長崎市の地域みなさんと暮らすうち、「みんなが暮らしやすいまち」に詳しくなった地域ねこたち。地域コミュニティのしくみづくりについて困ったときの的確なアドバイスをくれる。



## はじめに

近年、人口減少、少子化・高齢化、生活スタイルや価値観の変化など、社会の状況が大きく変わってきており、それに伴い、地域の困りごととも多様化・複雑化してきています。地域では、目的に応じてさまざまな団体がまちを良くするための活動を行っていますが、地域活動の担い手の不足や高齢化などが進んでおり、今後、さらに多様化・複雑化していく地域課題への対応が難しくなることが考えられます。

こうした中で、地域の困りごとをしっかりと解決しながら、元気で魅力あふれる持続可能なまちにしていくためには、“地域コミュニティ”の力がとても大切です。

“地域コミュニティ”とは、ご近所さんやそこで働いている方、ボランティア活動やいろいろな活動をしている方などをメンバーとした、集まりやつながりのことです。この“地域コミュニティ”の力の大切さを最も実感しやすいのは災害の時です。東北や熊本での震災の時には、「地域や身近にいる人同士が協力し、助け合うことがいかに大切か、強く感じた」という声も聞かれました。

現在、問題なく活動できている地域でも、20年、30年後には活動が維持できなくなっているかもしれません。未来を見据え、今のうちに地域のつながりを強め、地域が一丸となって対応できるようにしておく必要があります。

そこで、長崎市では、地域の力を集めるしくみとして『(仮称)地域コミュニティ連絡協議会』の設立をご提案しています。このハンドブックでは、『(仮称)地域コミュニティ連絡協議会』設立までの手順を詳しくご説明します。長崎市の地域コミュニティのしくみづくりについての話を聞いて、興味を持った方、取り組んでみようと思った方に手に取っていただき、ご活用いただければ幸いです。

# 1 新しい地域コミュニティのしくみについて

現在、地域では、自治会をはじめ青少年育成協議会や社会福祉協議会地区支部、PTAなど目的に応じてさまざまな団体が活動しています。今後、さらに多様化・複雑化していく地域課題に対応するためには、これらの団体の連携を強め、多くの地域の皆さんが話し合っ、自分たちの地域に必要なことを「**地域で決めて、地域で実行する**」しくみが必要だと考えています。

「地域で決めて、地域で実行する」しくみの主体となっていきたいのが、（仮称）地域コミュニティ連絡協議会です。



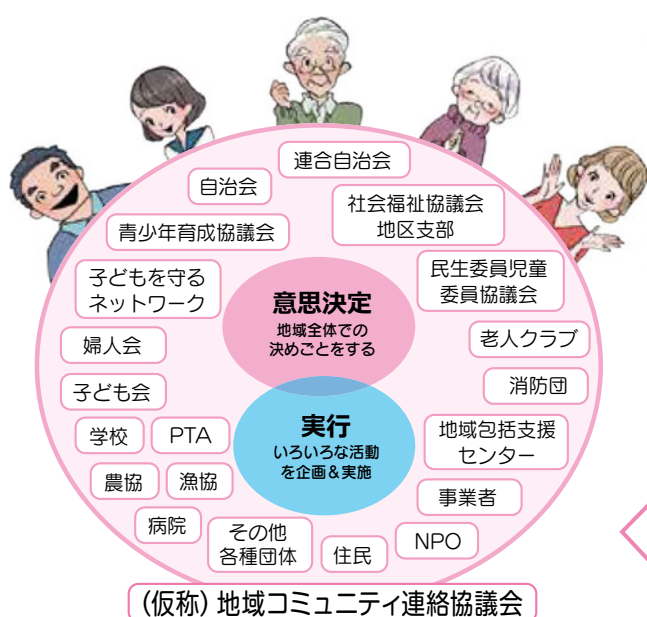
## （仮称）地域コミュニティ連絡協議会とは

- 範囲：おおむね現行の小校区または連合自治会の区域
- 構成：自治会をはじめとする地域のさまざまな団体が構成
- 活動内容：地域の皆さんで話し合っ、策定した「まちづくり計画」に基づく活動

## 長崎市が目指す将来像

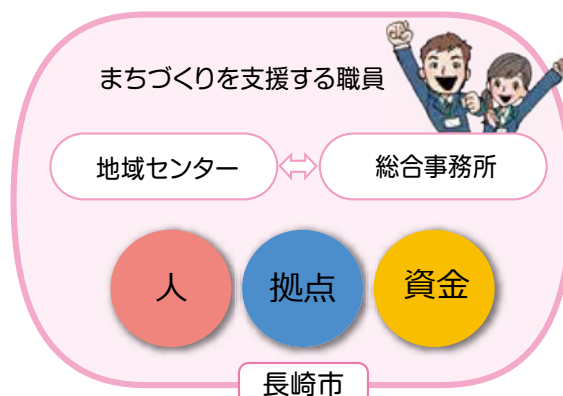
自治会をはじめとした、地域で活動する団体同士がさらに強くつながり、（仮称）地域コミュニティ連絡協議会という一つの組織をつくり、地域の力を集めて自分たちのまちは自分たちで良くしていく姿を目指しています。長崎市も、地域と協働・連携して、さらなる課題解決に取り組むことを目指します。

## ◆新しい地域コミュニティのしくみのイメージ図



目指すのは…

- ・住民みんながもっと参加する
- ・団体同士がもっとつながる
- ・地域と市役所がもっとつながる



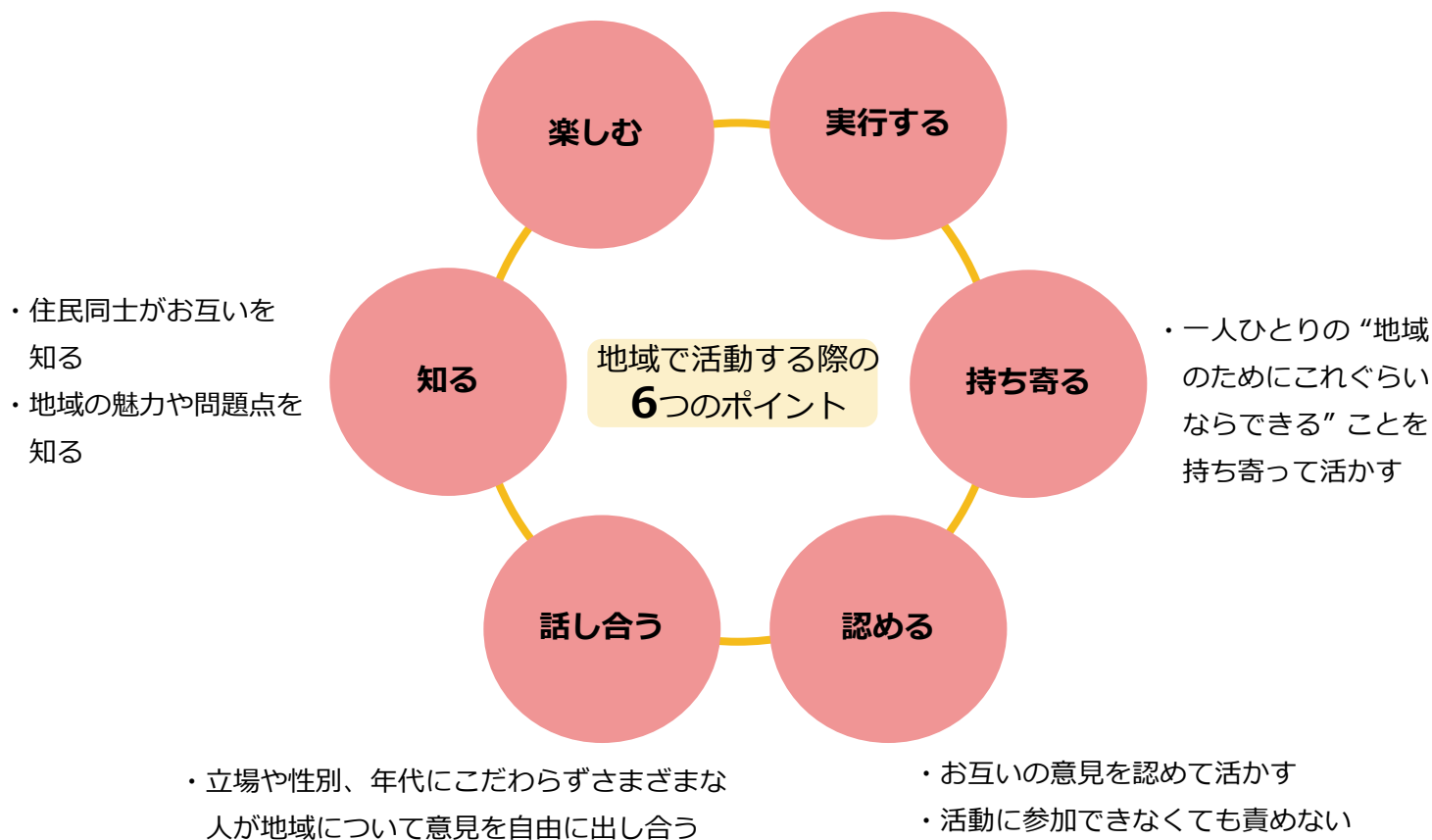
※構成団体名は一例です。

## 地域で活動する際に大切にしたいこと

この新しい地域コミュニティのしくみは、長崎市において初めての取り組みです。

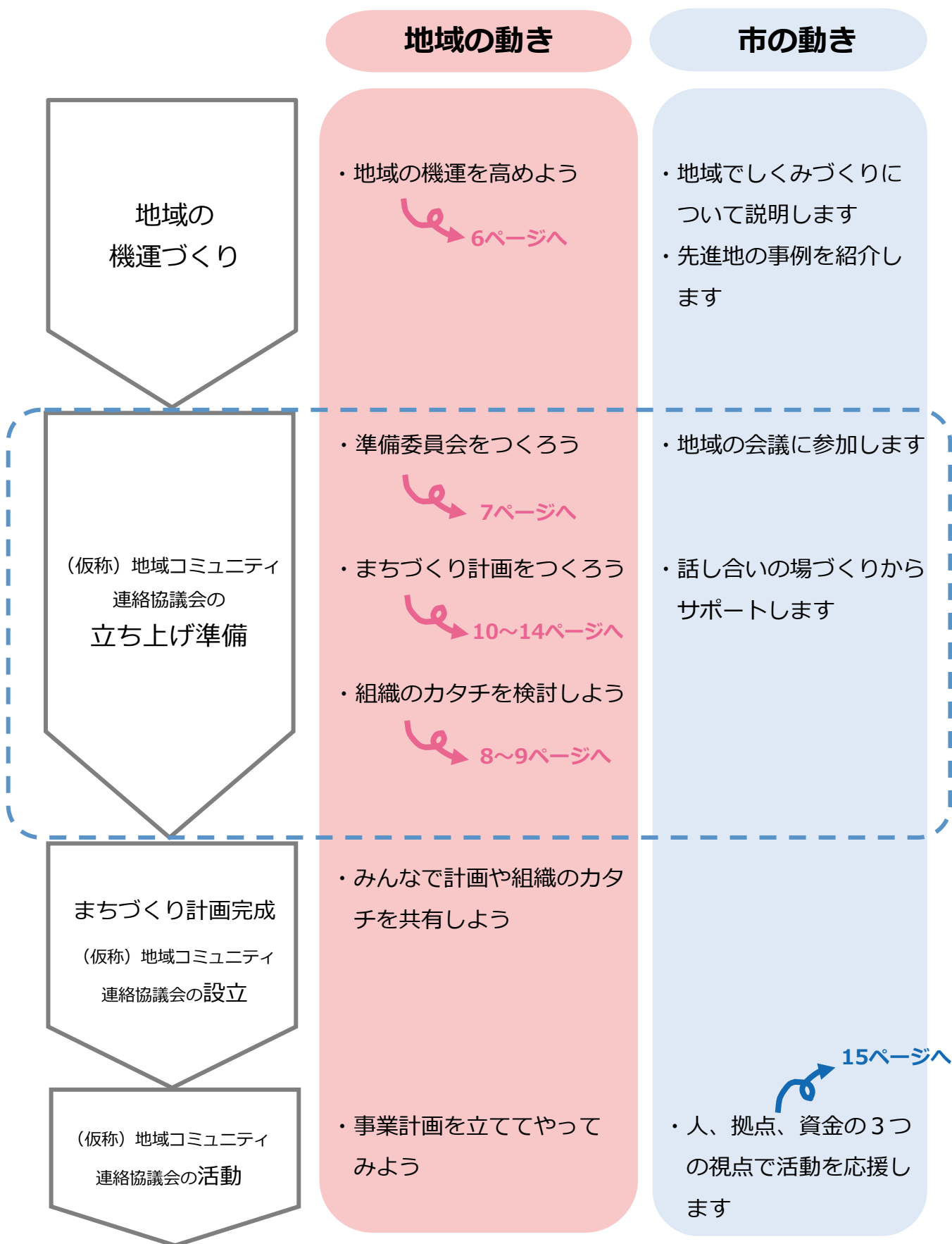
最初はうまく進まないこともあるかもしれませんが、進めていく中で忘れてはいけないことは、**地域に住む一人ひとりが主役**であるということです。一人ひとりが**当事者意識**を持って取り組めるように、皆さんの関心を集め、たくさんの方が参加し、お互いのコミュニケーションを取れるような工夫をしましょう。地域で活動する際には、次の6つのポイントを大切にしてみてください。

- ・無理をせず、みんなが楽しむ
- ・地域みんなのペースで進める
- ・できることからやってみる
- ・小さな成功体験を積み重ねる



## 2 (仮称) 地域コミュニティ連絡協議会設立までの流れ

(仮称) 地域コミュニティ連絡協議会設立までの全体的な流れを紹介します。

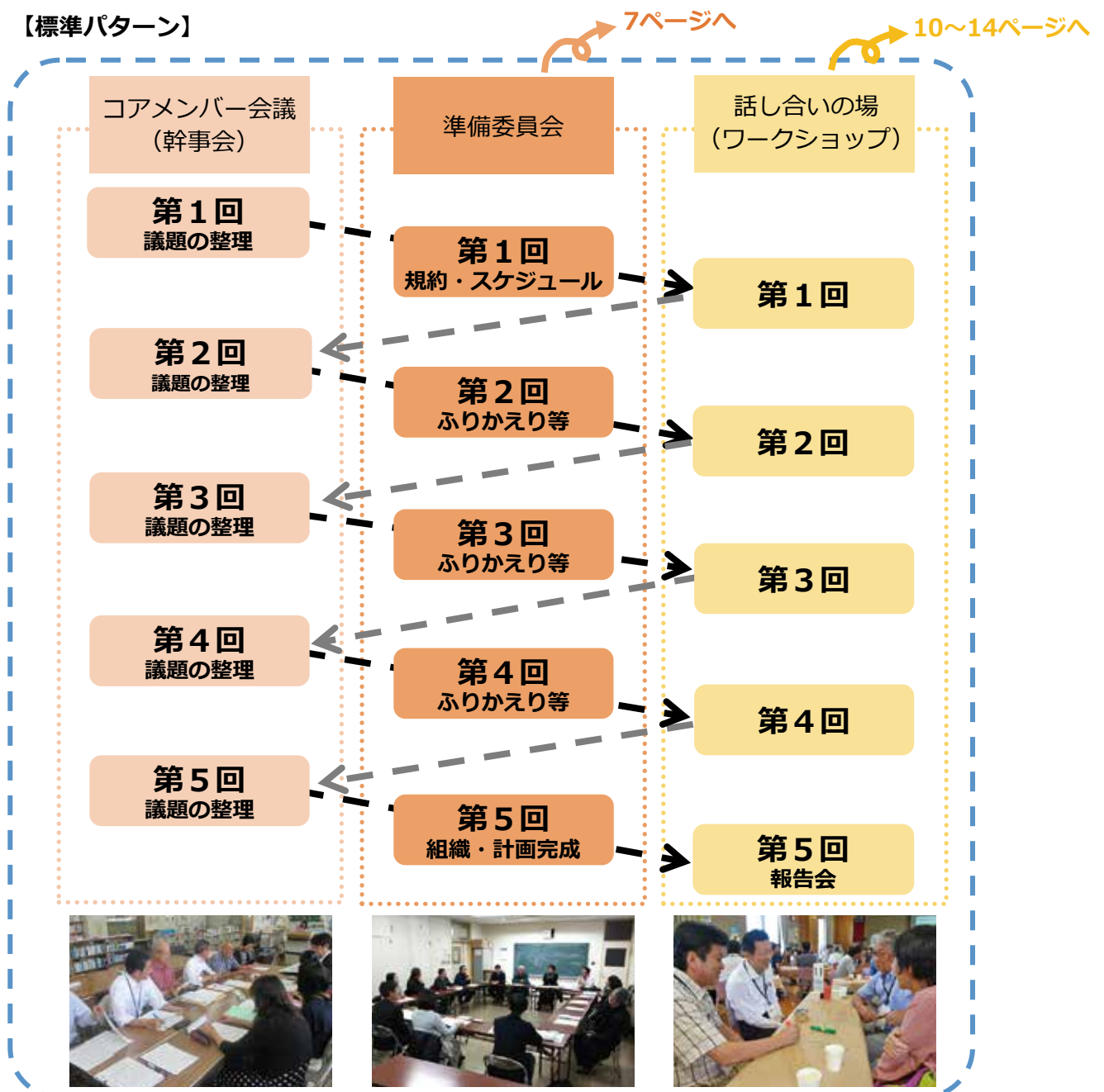


## (仮称) 地域コミュニティ連絡協議会設立に向けて

(仮称) 地域コミュニティ連絡協議会を設立するには、住民の意識を盛り上げながら進めていく必要があります。そのためには、多くの皆さんの意見を集める話し合いの場（ワークショップ）を開くとともに、出された意見を整理したり方向性を決定するための準備委員会、コアメンバー会議（幹事会）の場が必要になってきます。

| 名称                  | 対象者                           | 内容等                                 |
|---------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| コアメンバー会議<br>(幹事会)   | 準備委員会の中でも中心となる方々              | 準備委員会で図るべき議題等を整理、検討する場 ⇒7ページ        |
| 準備委員会               | 地域の各種団体・事業者の代表者等関係者及びその他必要な方々 | 話し合いの場（ワークショップ）や、協議会設立の準備をする場 ⇒7ページ |
| 話し合いの場<br>(ワークショップ) | 小・中学生、若手、女性なども含めた多様な方々        | まちづくり計画に必要な意見やアイデアを集める場 ⇒10～14ページ   |

### 【標準パターン】



※進め方や回数は地域の実情に応じて地域と相談しながら決めていきます

(仮称) 地域コミュニティ連絡協議会は、一人の人が必要性を主張するだけで進められるものではなく、地域全体の「やってみよう」という機運づくりも大切な要素です。

### みんなで学ぼう

地域の機運を高めるために、住民・自治会・地域団体などが集まり、新しい地域コミュニティのしくみについて理解を深めたり、先に取り組んでいる地域の事例を見たり、地域の現状を学んだりする場を地域で開きましょう。

立場や年齢などに関わりなく話し合い、それぞれが感じている地域の魅力や課題を出し合って、「こんなまちにしたい」という地域の将来への思いを共有しましょう。

このまちには高齢者ってどのくらいいるのかな？

このまちには色々な団体があるけど、どんなことをしているんだろう？

既に取り組んでいるところを見に行ってみたいね

特産物を活かしたいよね

#### 話し合う

地域の現状、魅力や課題、団体の活動内容などについて、話し合しましょう。

#### 知る

地域の将来を考えるために、地域の情報を集めましょう。

#### 考える

地域の特性に応じて、将来の姿や活動の進め方を考えましょう。



地域のさまざまな団体やたくさんの住民に参加してもらうことが大事だよ！

その中から、これからの地域を担う新たな人材が見つかるかもしれないね！





(仮称)地域コミュニティ連絡協議会の設立までには、活動内容を考えたり、決まりごとをつくったりといった準備が必要です。これらを中心となって行うために、地域のさまざまな団体を集めて準備委員会をつくりましょう。また、準備委員会をうまく進めるために、中心となるコアメンバーも選びましょう。

### 準備委員会の設置

まずは「コアメンバー会議(幹事会)」(10人程度)で、準備委員会で話し合う内容の「たたき台」をつくり、準備委員会で検討、確認しましょう。

準備委員会の初会合では、準備委員会の活動計画・規約の承認を行います。

#### 準備委員会の設置



### 準備委員会の役割

準備委員会の役割は、大きく分けて2つあります。

#### 準備委員会の役割

地域のことを  
話し合う場  
をつくる

(仮称)地域コミュニティ  
連絡協議会設立の準備

◆地域のことを話し合う場をつくる

地域のことを話し合う「話し合いの場（ワークショップ）」で、地域の課題やその課題解決のアイデアなどを出し合い、それらを準備委員会で「まちづくり計画」としてまとめます。



話し合いの場の準備（周知方法・当日のプログラムの検討・連絡調整等）を行います

多くの住民を集め、自由な意見交換を行います

話し合いの場で行われた意見を整理して、「まちづくり計画」にまとめます

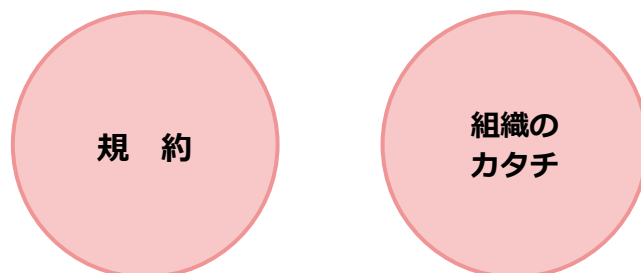
準備委員会の役割



組織のカタチの例

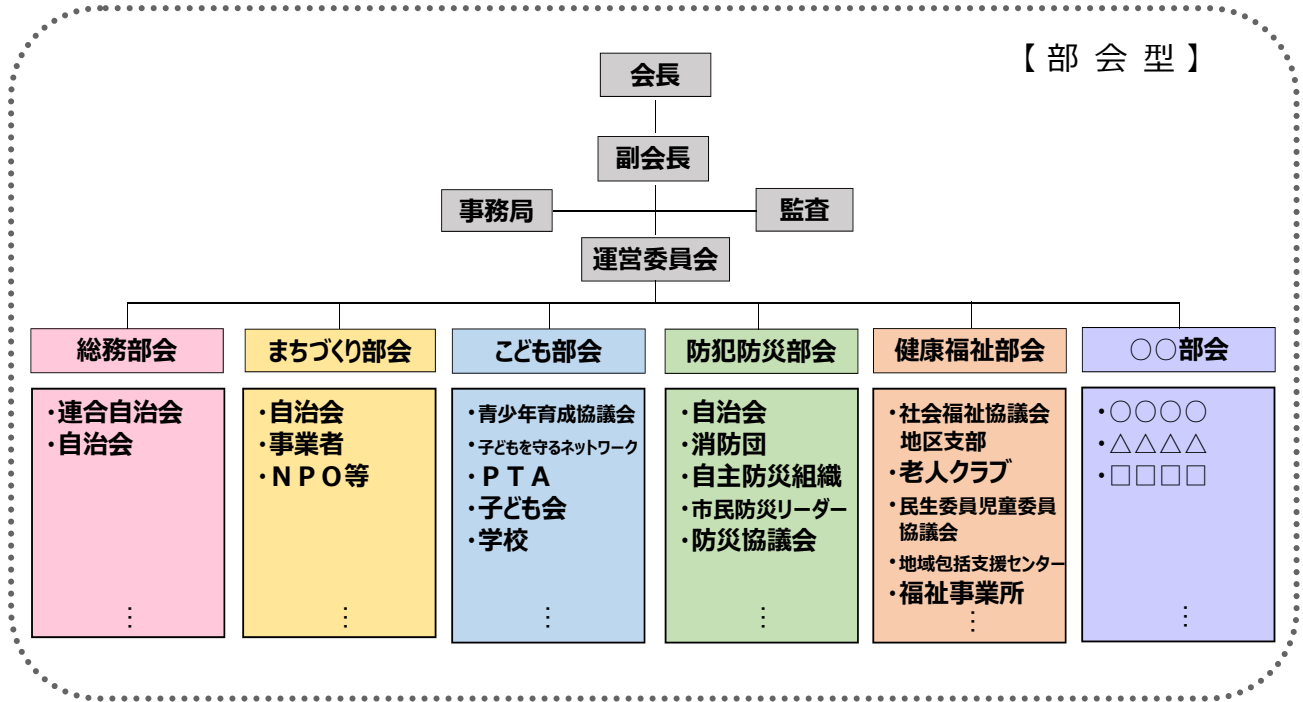
◆（仮称）地域コミュニティ連絡協議会設立の準備

（仮称）地域コミュニティ連絡協議会の運営に必要な組織の規約やカタチなど、設立に向けて必要な事項を検討します。

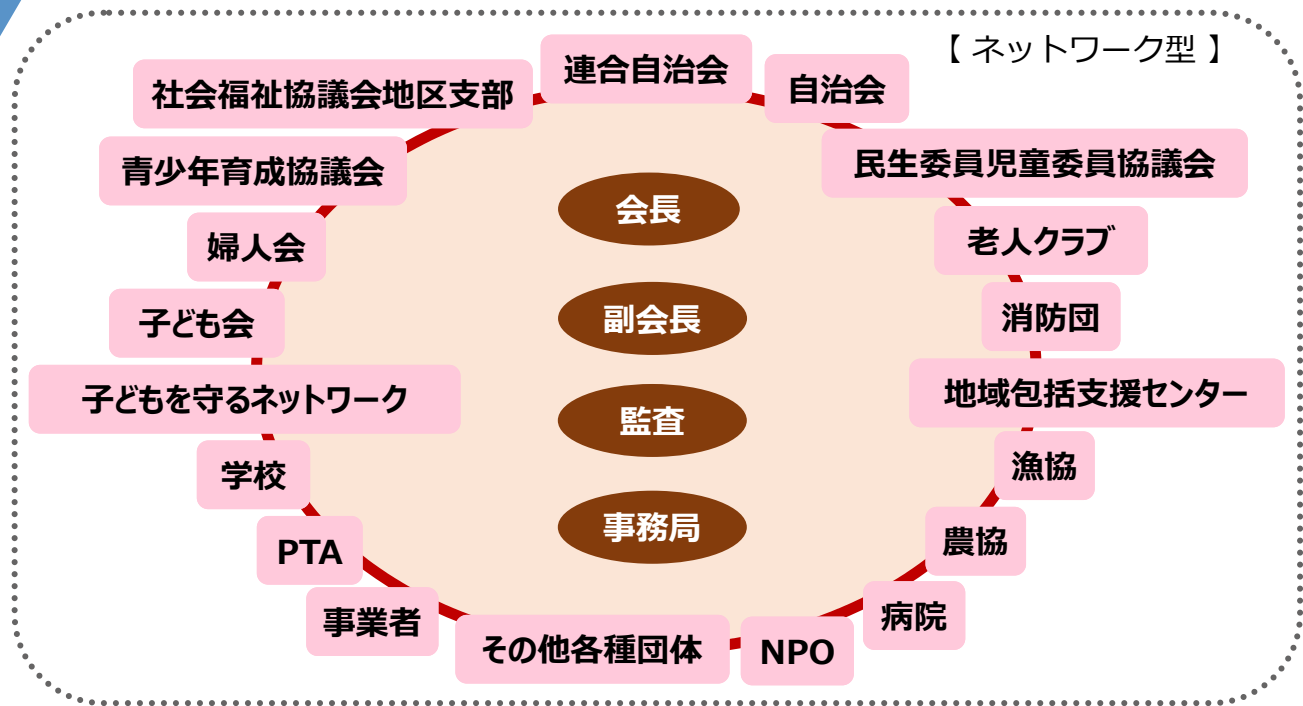
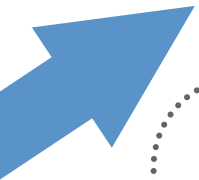




連携のカタチは地域でさまざまだよ！  
地域の動きやすいカタチで体制をつくろうね！



※構成団体名は一例です。  
また、各部会は地域の実情に合わせて設置していただきます。



※構成団体名は一例です。

これからの地域の活動を計画的・効果的に実行していくために、地域の課題、解決のための取り組みなどを記載した「まちづくり計画」を策定し、目指す地域の将来像を地域住民の皆さんで共有しましょう。

### まちづくり計画って？

「まちづくり計画」は、話し合いの場（ワークショップ）で出てきた地域住民の「こんなまちにしたい!」「こんなことをしたい!」という想いを、基本理念や取り組みなどに分類してまとめたものです。

#### (例)〇〇小学校区まちづくり計画

目指す将来像：世代を超え、人と人がつながり、健康で暮らしやすいまち

|         | 今の課題・問題  | 分野別の将来像   | 既に取り組んでいること   | 今後取り組む必要があること  |
|---------|--|---|---|--|
| 総務分野    | <ul style="list-style-type: none"> <li>■地域内で情報共有ができていない</li> <li>■若い人が意見を言える場が無い</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域内に情報が共有され、若い人の意見も積極的に取り入れられている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会活動をPRする広報紙を発行</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的な情報共有の場を作っていく</li> <li>○若者と高齢者が対等な立場で話し合いができる場をつくる</li> </ul>                     |
| まちづくり分野 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■自治会に加入しない世帯がある</li> <li>■住民同士の交流が薄い</li> <li>■地域行事が多い</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆住民一人一人ができることを出し合い、生き生きと活動している</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会加入PRチラシの作成</li> <li>○夏祭り</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○隣近所の転入居に気を配り、入居後2か月は自治会加入を積極的に呼び掛ける</li> <li>○各団体の行事を見える化し、調整をする。効果的に広報する</li> </ul> |
| 子育て分野   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■子育て世代の保護者が集える場が少ない</li> <li>■.....</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆子どもたちの声が響き、子育てしやすい環境をつくる</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○毎朝の交通安全の立哨運動</li> <li>○子どもを守るパトロール活動</li> <li>○.....</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て世代が集まれる場をつくる</li> <li>○.....</li> </ul>   |
| ●●分野    | <ul style="list-style-type: none"> <li>■.....</li> <li>■.....</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆.....</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○.....</li> <li>○.....</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○.....</li> <li>○.....</li> <li>○.....</li> <li>○.....</li> </ul>                     |

## 話し合いの場を開こう

「まちづくり計画」は、話し合いの場を開き、地域住民の皆さんの意見をできるだけ多く集めてつくりましょう。長崎市では、ワークショップという手法で話し合いの場を開催することをおすすめしています。

### 話し合いの場（ワークショップ）の概要

- 名称 地域住民のみなさんが親しめる名称を考えましょう。  
例)「〇〇ミライトーク!」「〇〇未来サミット」「〇〇語ろう会」等
- 対象者 地域に関わる団体、個人等、子どもから高齢者まで、すべての人が対象です。できるだけ多くの参加を募りましょう。
- 内容 全5回の話し合いで地域について考えます。  
各回のテーマは次のとおりです。
  - 第1回 地域の現状を知る（地域の魅力、課題について話し合う）
  - 第2回 目指す姿を考える（地域の将来像を話し合う）
  - 第3回 活動を探る（課題解決のためにやりたいことについて話し合う）
  - 第4回 実行を考える（取り組みの優先順位や実行手段について話し合う）
  - 第5回 報告会（みんなでつくったまちづくり計画を共有する）

### ★ポイント★

まちづくり計画は「**より多くの地域住民の想いを反映している**」ことが大事

まちづくり計画はできるだけ多くの地域住民の皆さんから意見を集め、「こんなまちにしたい」という想いを反映させながらつくります。

そのためには、次の工夫を行いましょう。

#### 参加者への呼びかけ

大切なのはより多くの人に参加してもらうことです。多くの人に開催の周知を行いましょう。話し合いのテーマや経過をチラシなどで伝え、気軽に参加できる雰囲気を広めましょう。



#### 会場づくり

活発な意見交換のためには、自由な空気づくりが大切です。上下関係を感じさせない席の配置や、グループ作りの際に発言しやすい人数に配慮するなど、会場づくりを工夫しましょう。

#### ルールづくり

会議では声の大きい人の意見が注目されがちです。ルールをつくり、みんなの意見を表に出しやすい工夫をしましょう。

- (例)★否定、断定をしない。  
★相手の話を遮らず、最後まで聞く。  
★発言は1分以内 等…



## 第1回

### 話し合いの場

#### ねらい：地域の現状を知ろう

地域の魅力、課題について話し合う

長崎市の統計資料やまちあるきなどの活動を通して地域の現状を知り、活かしていきたい地域の魅力と改善すべき課題をグループで話し合います。

人口が減っているなあ

担い手が減って、  
行事を開催するのが大変…

地域の特産物を  
もっとPRしたいね



## 第2回

### 話し合いの場

#### ねらい：目指す姿を考えよう

地域の将来像を話し合う

第1回の話し合いの場に出てきた魅力、課題を踏まえ、地域の将来像を考えます。地域によっては将来像より先に具体的な活動内容のアイデアが出てくることも。

交流人口を増やそう

仲間を増やして、  
一人の負担を減らそう

魅力を発信できるまちを  
目指したい



## 第3回

### 話し合いの場

#### ねらい：どんな活動をするか考えよう

課題解決のためにやりたいことについて話し合う

第2回の話し合いの場で決まった将来像に近づくために、こういった取り組みが必要かを考え、自分にできることを出し合います。地域によってはまず活動を決めてから目指すべき将来像が見えてくることも。

空き家を活用して移住体験できる民泊を実施しては？

地域の防災訓練と運動会を一緒に行ってはどうか？

特産物を使ったお土産を開発しよう



## 第4回

### 話し合いの場

#### ねらい：どう実行するかを考えよう

取り組みの優先順位や実行手段について話し合う

第3回の話し合いの場に出てきた取り組みのアイデアについて、どれから取り組むか優先順位を考えます。

さらに、「誰が」「いつ」「どこで」「誰に対して」「どのようにして」実行するのかなども検討します。

何月までに消防団やPTAに声を掛けよう

試作品にはこれくらいの費用が掛かって…



## 第5回

話し合いの場

### ねらい：報告会を開こう

みんなで作ったまちづくり計画を共有する

第4回の話し合いの場までに出た地域の皆さんの意見は、準備委員会で集約され、まちづくり計画としてまとめられます。皆さんの意見が反映されているか確認しましょう。



|             |             |             |              |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 地域活動の計画  | 2. 地域活動の計画  | 3. 地域活動の計画  | 4. 地域活動の計画   |
| 5. 地域活動の計画  | 6. 地域活動の計画  | 7. 地域活動の計画  | 8. 地域活動の計画   |
| 9. 地域活動の計画  | 10. 地域活動の計画 | 11. 地域活動の計画 | 12. 地域活動の計画  |
| 13. 地域活動の計画 | 14. 地域活動の計画 | 15. 地域活動の計画 | 16. 地域活動の計画  |
| 17. 地域活動の計画 | 18. 地域活動の計画 | 19. 地域活動の計画 | 20. 地域活動の計画  |
| 21. 地域活動の計画 | 22. 地域活動の計画 | 23. 地域活動の計画 | 24. 地域活動の計画  |
| 25. 地域活動の計画 | 26. 地域活動の計画 | 27. 地域活動の計画 | 28. 地域活動の計画  |
| 29. 地域活動の計画 | 30. 地域活動の計画 | 31. 地域活動の計画 | 32. 地域活動の計画  |
| 33. 地域活動の計画 | 34. 地域活動の計画 | 35. 地域活動の計画 | 36. 地域活動の計画  |
| 37. 地域活動の計画 | 38. 地域活動の計画 | 39. 地域活動の計画 | 40. 地域活動の計画  |
| 41. 地域活動の計画 | 42. 地域活動の計画 | 43. 地域活動の計画 | 44. 地域活動の計画  |
| 45. 地域活動の計画 | 46. 地域活動の計画 | 47. 地域活動の計画 | 48. 地域活動の計画  |
| 49. 地域活動の計画 | 50. 地域活動の計画 | 51. 地域活動の計画 | 52. 地域活動の計画  |
| 53. 地域活動の計画 | 54. 地域活動の計画 | 55. 地域活動の計画 | 56. 地域活動の計画  |
| 57. 地域活動の計画 | 58. 地域活動の計画 | 59. 地域活動の計画 | 60. 地域活動の計画  |
| 61. 地域活動の計画 | 62. 地域活動の計画 | 63. 地域活動の計画 | 64. 地域活動の計画  |
| 65. 地域活動の計画 | 66. 地域活動の計画 | 67. 地域活動の計画 | 68. 地域活動の計画  |
| 69. 地域活動の計画 | 70. 地域活動の計画 | 71. 地域活動の計画 | 72. 地域活動の計画  |
| 73. 地域活動の計画 | 74. 地域活動の計画 | 75. 地域活動の計画 | 76. 地域活動の計画  |
| 77. 地域活動の計画 | 78. 地域活動の計画 | 79. 地域活動の計画 | 80. 地域活動の計画  |
| 81. 地域活動の計画 | 82. 地域活動の計画 | 83. 地域活動の計画 | 84. 地域活動の計画  |
| 85. 地域活動の計画 | 86. 地域活動の計画 | 87. 地域活動の計画 | 88. 地域活動の計画  |
| 89. 地域活動の計画 | 90. 地域活動の計画 | 91. 地域活動の計画 | 92. 地域活動の計画  |
| 93. 地域活動の計画 | 94. 地域活動の計画 | 95. 地域活動の計画 | 96. 地域活動の計画  |
| 97. 地域活動の計画 | 98. 地域活動の計画 | 99. 地域活動の計画 | 100. 地域活動の計画 |

他の分野では  
こんな意見が出たのか

私の班の意見、  
取り入れられてる！

基本理念を大切に、  
目標を実現していくぞ！



ちこみん、うちの地域では以前、「まちづくり計画」とは別に、地域活動の計画をつくったことがあるんだ。似たような計画を同じような人たちでもう一度新しくつくらないといけないの？

会長さん、心配しないで！  
すでに地域活動の計画をつくっている場合は、一から新しいものをつくるのではなくて、これをベースにしてまちづくり計画をつくって大丈夫だよ。  
他に盛り込むことがないか、新たに追加することはないか、見直す点はないかなど、みんなで話し合うことで、良いアイデアが出てくるかもね！





### 3 長崎市も応援します

長崎市も、人・拠点・資金の3つの視点で（仮称）地域コミュニティ連絡協議会を応援します。

#### 人

地域コミュニティ推進室・総合事務所・地域センターにいる、まちづくりを支援する職員が、（仮称）地域コミュニティ連絡協議会の設立や継続的な運営をサポートします。

- ・話し合いの場のサポート
- ・講座や情報交換会、先進地への視察を開催 など

#### 拠点

地域の公共施設の活用について、ご相談をお受けします。

#### 資金

まちづくり計画に基づく活動に対して、交付金を交付します。  
※地域ごとに上限があります。

### おわりに

いかがでしたか？長崎市が提案している新しい地域コミュニティのしくみのうち、（仮称）地域コミュニティ連絡協議会の設立までの手順についてご説明しました。本書が皆さんのまちづくりのヒントになれば幸いです。ただし、ここで気を付けていただきたいことは、（仮称）地域コミュニティ連絡協議会の設立がゴールではないということです。

皆さんで決めた「こんなまちにしたい」という地域の目標を実現していくために、地域に応じた組織体制で取り組みを実行していく、地域の、地域による、地域のためのまちづくりのスタートです。

（仮称）地域コミュニティ連絡協議会の具体的な運営方法については、第2弾以降で説明したいと思っていますので、お楽しみに！

住民**みんな**が参加して 団体同士が**つながって**  
**地域と市役所**がもっと**つながって**  
まちづくりに取り組んでいきましょう

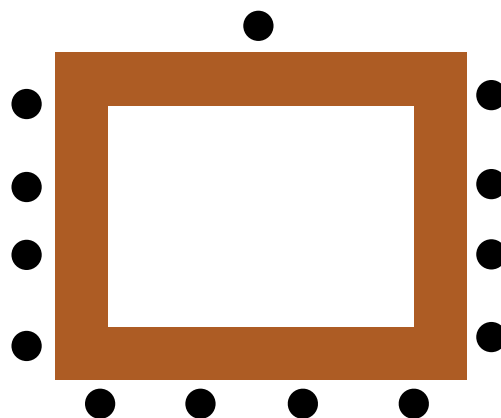
## 地域の“話し合い”を変えてみましょう！

まちづくり計画を策定するにあたり、「ワークショップ」という話し合いの方法をご紹介します。「ワークショップ」とは、元々の意味は「工房」「作業場」です。

まちづくりを進める上で最も大切なことは、住民のみなさん同士の「対話」と「共感」を呼び起こす「話し合いの場づくり」です。「ワークショップ」を使って地域の話し合いを変えてみましょう！

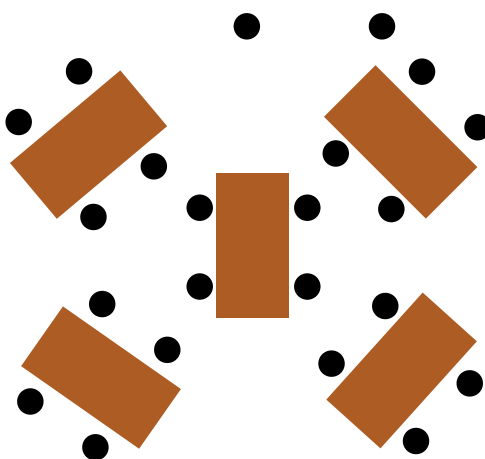
### ◆従来は…

地位がある人や情報を持っている人からの意見が目立ち、他の参加者は自由な意見が言えないまま、物事が決定してしまいがち



### ◆これからは…

参加者が少人数のグループに分かれ、自由に意見を出し合い、楽しい雰囲気の中でみなさんが納得のいく合意形成を図りましょう





じゃあ、具体的にどうしたらいいの？

## 1 会場づくりをしましょう！

ひとつのグループで話しやすく、盛り上がりやすいのは4人～5人です。

参加人数に応じて小さな島型のテーブルをいくつもつくりましょう。



## 2 プログラムを考えましょう！

1回の話し合いの時間は2時間程度とし、それ以上の時間がかかる時は休憩を入れましょう。

限られた時間で話し合いをするために、事前に話し合いのテーマと優先順位を決めておきましょう。



## 3 気軽に話し合うための小道具を準備しましょう！

お互いを知るための「名札」や、意見を見やすく整理するための「模造紙」、「水性マーカー（裏写りしないもの!）」などがあると便利です。

## 4 進行役・記録係を決めましょう！

ざっくばらんに話をする 것도大事ですが、意見を整理する進行役や皆さんの意見を“見える”ように書き留める記録係も決めておくと、話し合いがスムーズに進みます。

### 特に気を付けたいワークショップの5つのポイント

- 1 **目的**を明確にしておく : 何のために話し合うのか
- 2 **ゴール**を明確にしておく : 何をどこまで決めるのか
- 3 **議題の順番**を考える : どんな順番で話し合うのか
- 4 **ルール**を決めておく : (例) 否定をしない、1回の発言は1分以内 など
- 5 **メンバー**を集める : 立場や性別、年代にこだわらず、さまざまな人に呼びかける

少しの工夫で、話し合いは変わります。話し合いが変われば、地域の未来が変わります。できることから始めてみませんか。

市役所の職員も話し合いの場づくりをお手伝いします。お気軽にご相談ください。

■ハンドブック作成メンバー■ 地域コミュニティ推進室 佐々木・高野  
 中央総合事務所まちづくり支援係 山口・吉野・矢野  
 中央地域センターまちづくり支援係 浜崎

発行 長崎市

2018年3月 第1版

問い合わせ先：地域コミュニティ推進室 ☎095-829-1283